

寺岡得夫氏文書概要

1: 文書群番号	077001
2: 文書群名	寺岡得夫氏文書
3: 出所	寺岡得夫家
4: 家業・役職等	浜田村庄屋
5: 地名	摂津国武庫郡浜田村／兵庫県武庫郡浜田村／武庫郡大庄村浜田／尼崎市浜田／尼崎市浜田町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	<p>浜田村は、市域西部、蓬川上流に位置する。史料上の初見は建永2年(1207)で浜田郷とある。中世には東新田とともに浜田荘の荘域であった。</p> <p>近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となった。村高は慶長10年(1605)に533石余、天保5年(1834)に553石余とある。天和・貞享年間(1681～1688)には家数53軒・人数317人、天明8年(1788)には47軒・197人であった。水利は大島井組に属した。大島井は旧浜田荘2か村(浜田・東新田)と旧大島荘4か村(今北・東大島・西大島・西新田)で構成。氏神は松原神社(近世には牛頭天王社、近代には素盞鳴神社、のち現社名に改称)、寺院は臨済宗妙心寺派興善寺・浄土真宗本願寺派浄専寺。</p>
8: 伝来	市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和52年に寺岡得夫氏が史料館へ寄託。
9: 史料入手先	寺岡得夫氏
10: 点数	318点 (目録件数227件)
11: 年代	永正16年(1519)～明治44年(1911)
12: 構造と内容	<p>本文書群は、①近世の用水関係、及び近世・近代の②土地貸借・売買関連、③人別(戸籍)関係、④金銭貸借関係の史料からなる。</p> <p>①は、浜田村・大島村両村の井水争論に関する増田長盛の折紙のほか、七松・西難波村など近隣村々との水論関係史料がある。②は田畑売買証文などがある。③は人別送り・請け状、奉公人請け状がまとまっている。④は金銭貸借証文のほか、返済滞りの訴訟史料などがある。</p>
13: 関連史料	浜田部落有文書ほか
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央